



ゲスト陣華やかに結集



「ホラーの名手」として知られる中田秀夫監督が手がけたホラー映画の新作『クロユリ団地』で主演した前田敦子(左)と成宮寛貴

レッドカーペットに歓声

開会セレモニー 宜野湾市会場

「第5回沖縄国際映画祭」(主催・同実行委員会)が23日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで始まった。恒例の開幕イベントであるレッドカーペットには5万3000人の観客が詰めかけ、人気芸人や映画監督、俳優ら映画関係者550人が参加した。8日間にわたる映画祭の期間中、9カ国と1地域の74作品が上映される予定。

レッドカーペットは援に添えていた。俳優コンベンションセンターからトロピカルビーチの特設ステージまでの約170mに設置。午後3時から、六代桂文枝、NON STY LE、スリムクラブらの人気芸人に加え、ミュージシャンの宮沢和史、特別招待作品『クロユリ団地』に出演している成宮寛貴、前田敦子ら多彩な有名人たちが登場し、報道陣の問いかけやファンの声援に添えていた。俳優として参加したNMB48の山本彩は「沖縄は気候だけじゃなくて皆さんがとてもあたたかいですね」と話した。今回は地域発信型プロジェクトを拡充し、ロジエクトを拡充し、沖縄との協力関係をより深く、緊密にするべく、沖縄県内の5地域を舞台にした作品やJIMOTOCMCO MPEITIONでは沖縄の全市町村のCM作品も上映される。



「NMB48 げいにん! THE MOVIE お笑い青春ガールズ」で漫才に挑む女子高生を演じたNMB48のメンバー6人

友人とともに会場を訪れた伊集麻美さん(25)「宜野湾市は成宮寛貴さんと前田敦子さんをみる事ができてうれしい。二人とも素敵」と感激。初めて映画祭を体験した大城康さん(24)「豊見城市は「天気がよくあったので来てみた。有名な人たちが身近で見られるところがよかったです」と話していた。午後5時からは、特設ステージでオープニングセレモニーが開かれ、実行委員長である吉本興業の大崎洋社長が「毎日、歌い、踊り、笑うことを沖縄の友人が上映された。産業にしたい」と述べた。開会を宣言。実行委員会名誉会長の仲井眞弘多県知事は「映画祭がますます盛んになるように、沖縄県民で応援をつくっていきたい」とあいさつした。期間中に上映される映画の見所や開催される注目イベントが紹介された。この後、同じトロピカルビーチに設けられた世界最大級のオープニングスクリーン「Cine Screen 400」で、今話題のファンタジー大作『ジャックと天空の巨人』が上映された。



オープニングセレモニーの総合MCを務めた佐藤麻衣、今田耕司、木佐彩子(左から)



Laugh & Peace部門の審査員を務めるクロード・ガニオン、ジョエル・シュマッカー(審査委員長)、デーモン閣下、桃井かおり(左から)

シーサーだより②

今年も実にカラフルな作品群が集まった。ジャッキー・チェンや金子修介のような大御所が出品するかと思えば、テレビのバラエティ番組「世界の果てまでイッテQ」や「さんまのスーパーからくりTV」はねるのトビら」の制作マンたちが初の長編劇映画に挑んだ。彼らがどんなアイデアを披露してくれるのか、日本のトップクリエイターたちの底力を想像するだけでワクワクしてくる。▼去年の大ヒット作『探偵はBARにいる』のパート2がいち早く披露されるし、サンダンス映画祭出身でアカデミー賞にノミネートされた『ハッシュパイパー』もラインナップされている。▼なんとLaugh部門、Peace部門出品全20作品中、世界初公開が9作品、日本初公開が4作品もある。インド、台湾、韓国、香港、タイをはじめ、オーストラリア、トルコ、スウェーデンからも参戦。回を追うごとに映画祭地図は版図を拡大している。▼審査委員長には「セント・エルモス・ファイアー」「バットマン・フォーエヴァー」のジョエル・シュマッカー。審査員には桃井かおり、デーモン閣下、それに沖縄を舞台にした『カラカラ』(工藤夕貴主演・モントリオール世界映画祭W受賞)を公開したばかりの沖縄の達人クロード・ガニオンも名前を連ねる。▼興奮さめやらぬコンパニションの幕開けだ! (麻生香太郎)



ハッシュパイパー バスタブ島の少女 ©2012 Cinereach Productions, LLC. All rights reserved.

沖縄の多様性 映す5作

地域発信型映画

沖縄国際映画祭が強力に推進するプロジェクトの一つ、日本各地の人々・団体と共同で制作する「地域発信型映画」。今年は開催地の沖縄との協力関係をより深く、緊密なものにし、沖縄の多面的な魅力を広く国内外にアピールするべく、沖縄の5地域を舞台にした多彩な作品が今日、24日から沖縄コンベンションセンター（OCC）と桜坂劇場（桜坂）で上映される。



わらいのかみさま【今帰仁村】
©「わらいのかみさま」製作委員会

読谷村で撮られた『THE BOOM 島唄のものがたり』は、島唄のものがたりは沖縄戦の悲劇を歌にした「島唄」がいかにして生まれ、名曲になっていったかを作詞・作曲の宮沢和史と関係者へのインタビューで解き明かす（24日・桜坂/27日・OCC）。

『税金サイボーグ・イトマン』（24日・桜坂/25日・OCC）は不器用な主人公「イトマン」が糸満市で繰り広げる悲喜交々のヒーロー活劇。



ジノン・シチュン【宜野湾市】
©「ジノン・シチュン」製作委員会

映画祭の主会場を擁す宜野湾市に伝わる羽衣伝説に材をとった『ジノン・シチュン』（24日・桜坂/29日・OCC）。

（出会えば兄弟）精神をモチーフに描いた『わらいのかみさま』（26日・桜坂/27日・OCC）は長寿の村として知られる今帰仁村が舞台のハートフルコメディ。



税金サイボーグ・イトマン【糸満市】
©いちまん映画実行委員会

『ビューティ』『コメディ』『ミュージック』を融合させ、昨年、沖縄の女の子を熱狂させたイベント「ちゅらイGIRLS UP-ステージ」が今年も登場。きょう午後3時からビーチステージで開催される。

人気のモデルが特設ラウンウェイを闊歩するきらびやかなファッションショーのほか、YU-A、fumikaといった女性ミュージシャンのライブも催される。



芹那（右）、道端アンジエリカといったカリスマモデルが映画祭に華やかな風を送り込む

THE BOOM 島唄のものがたり【読谷村】
©2013「THE BOOM 島唄のものがたり」製作委員会



沖縄語（うちなーぐち）【北谷町】
©「沖縄語（うちなーぐち）」製作委員会



巨大画面に釘付け



開会式終了後、ビーチステージに建てられた世界最大の移動スクリーンでの『ジャックと天空の巨人』2D日

本語吹替版の上映に先立ち、声優陣による舞台挨拶が行われた。ジャック役のウエンツ瑛士は「先入観なし

で純粋に楽しめる作品。この映画を観て、素敵な沖縄の夜を過ごしてください」とコメント。ヒロイン役の平



主演のウエンツ瑛士（右から3人目）と平愛梨（同4人目）、巨人に扮したよしもと芸人が登壇した

愛梨は「こんな大きな画面で見たら、みなさん今夜は眠れなくなると思いますよ」とと巨大スクリーンへの驚きを隠せない様子。

巨人たちの声を演じたよしもと芸人の面々の一人、ゴリ（ガレット）も「僕が演じる巨人は8メートルという設定なので、このスクリーンだと実物大の巨大さで映し出されるんです」。最後に真栄田賢（スリムクラブ）が「この映画、ええよ」と得意のポーズで挨拶。ビーチを埋めた観客は、遠目にも迫力ある映像に興奮しつつ見入っていた。

目指せ! カンヌ、ベネチア



23日、山本一太・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）＝写真＝が第5回沖縄国際映画祭を視察し、オープニングセレモニーに出席。セレモニー終了後に報道陣の取材に応じた山本大臣は「沖縄の素晴らしい可能性を発信する映画祭に大きな可能性を感じた。カンヌやベネチアに匹敵する映画祭になるよう盛り上げ、沖縄のファンが一人でも多く増えるようになればいい」と期待を寄せた。

山本沖縄相もエール

大ヒット! ついにミリオン突破!!

ダンス×エクササイズの新感覚プログラムDVD

TRF EZ DO DANCERCIZE

イーゾドゥ ダンササイズ

販売枚数 100万枚突破!

今すぐチェック! TRFひみつをさがせ 検索